

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価計画

達成度(評価)
 A: 十分達成できている
 B: ほぼ十分達成できている
 C: やや不十分である
 D: 不十分である

学校名	大町町立小中一貫校大町ひじり学園
1 前年度 評価結果の概要	・児童生徒の実態を把握し、情報共有を行った上で、学校全体として共通した指導ができてきた。いじめや不登校、問題行動等については、小・中間のさらなる連携を図り、継続した指導を行ってきたい。 ・学力の向上については、9年間の学びの連続性を意識して、キャリア教育を本校の教育活動の柱とし、基礎的・本来的な学習内容の確実な定着を図る必要がある。 ・教職員の働き方改革については、タイムマネジメントを意識した業務改善に取り組むことができるよう、小中の連携を強化し、職員間の協働体制を整えていく必要がある。
2 学校教育目標	「大膽 智識」 ～知・徳・体を大きく磨き、人格の完成を目指す～ 「夢に向かって 絆・全力・挑戦」 ～夢と誇りをもち、社会をたくましく生き抜く児童生徒の育成～
3 本年度の重点目標	① 主体的に学ぶとする態度を育てる学習指導の工夫を図る。 ② キャリア教育の充実を図る。

4 重点取組内容・成果指標

				中間評価		最終評価		主な担当	
(1) 共通評価項目				達成度(評価)	進捗状況と見直し	達成度(評価)	実施結果		評価
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	達成度(評価)	進捗状況と見直し	達成度(評価)	実施結果	評価	学校関係者評価
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策推進シートに示したマインドの達成率を達成した教師80%以上	・授業づくりのステップ1・2・3セルフチェックを学期に1回行い、レベルアップを目指す。研究発表等の参観等でもチェックシートを活用する。						
		○「よい姿勢で寄り、発言者の方を向いて話を聞くことができたと肯定的に回答している児童生徒80%以上	・校内研究の時間を活用した学習規律内容の共通理解の場の設定 「学習のルール」に準じた学習規律の指導						
		○「宿題や課題、あきらむワークを忘れていない」と肯定的に回答している児童生徒90%以上	・家庭学習の充実を目指す授業の実施 「学習のルール」に準じた家庭学習時間の指導						
		○「自分の考えをもち書くことができた」と肯定的に回答している児童生徒70%以上	・西部探検隊、大町型授業実践における自分の考えを書く活動の設定						
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○命の大切さや相手の立場を考えた思いやることができるようになったと答える児童生徒70%以上	・生命尊重、思いやり等の道徳授業の実践 ・本物に触れる体験活動の取組 ・平和集会、人権集会の取組						
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめの把握に関する学校全体の取組を月1回以上実施 ○いじめの早期認知時の対応、その日の21:00までに対応完了	・毎月、心のアンケートを実施 ・定期教育相談、児童生徒との面談の実施 ・チームによる対応 ・いじめ事案対応の検証						
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	○「健康に食事は大切である」と考える児童生徒の割合、小学生児童95%以上、中学生児童100%	・学級活動等による食育指導の推進 ・朝食の遅延や食卓の大切さについての家庭への啓発 ・全職員による給食指導 ・食習慣に対するマナーや意識の向上を図る指導						
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規程に掲げる時間外在校等時間の削減を達成する。	・定時退勤推進ボードを活用した定時退勤日の設定 ・長期休業中の学校閉庁日の設定 ・部活動休業日の設定						
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目									
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	達成度(評価)	進捗状況と見直し	達成度(評価)	実施結果	評価	学校関係者評価
○キャリア教育の推進	○児童生徒が夢や誇りを持ち、社会をたくましく生き抜くための教育活動	○「将来の夢や目標を持っている」という肯定的な回答をした6年生児童、9年生児童80%以上	・学期の始めや終わり、行事や活動後など計画的にキャリアアセスメントに記述させる。						

●…共通評価 ○…学校独自 ◎…意を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--